

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

《ドイツ・ロマン派音楽名曲選》
世界的名匠ヴァイグレによる
心震わす「スコットランド」

エミーリエ・マイヤー：「ファウスト」序曲

E. MAYER: "Faust" Overture

シューマン：ヴァイオリン協奏曲 二短調

SCHUMANN: Violin Concerto in D minor

メンデルスゾーン：交響曲第3番 1短調 作品56 「スコットランド」

MENDELSSOHN: Symphony No. 3 in A minor, op. 56 "Scottish"

ベルリン・フィルを指揮し、ウィーン国立歌劇場、
バイエルン国立歌劇場などで活躍するドイツの名匠

指揮=セバスティアン・ヴァイグレ

Conductor= SEBASTIAN WEIGLE

MENDELSSOHN Scottish

SCHUMANN Violin Concerto

ザルツブルク音楽祭など世界の最前線で活躍し、
飽くなき美を追求する現代最高峰のヴァイオリニスト

ヴァイオリン=イザベル・ファウスト

Violin= ISABELLE FAUST

読売日本交響楽団 第283回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 283

2026年 1月24日(土)
Saturday, 24 January 2026

読売日本交響楽団 第283回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 283

2026年 1月25日(日)
Sunday, 25 January 2026

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール

14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10~18時・年中無休)
(12/29~1/3を除く)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。
開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いた
いたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場は、回くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会

名匠ヴァイグレが振る激動の《スコットランド》

究極の美を探究する世界的名手

ファウストの魔法にかかる

1月の《土曜・日曜マチネーシリーズ》には、読響とのコンビネーションにますます磨きがかかる常任指揮者ヴァイグレが登場。得意とするドイツの名作曲家たちの作品を指揮し、洗練された手腕を存分に発揮するでしょう。

メインに取り上げるのはメンデルスゾーンの傑作「スコットランド」。彼が同地を訪れた際にインスピレーションを受け、実に10年以上の時を経て完成させた大作で、全5曲の交響曲の中でも特に起伏に富んだ作品です。合唱を想起させる厳かな序奏、民謡風の小気味よいメロディ、終楽章での猛烈なサウンドの展開、その後に続く崇高なフィナーレなどが特徴的。練熟のタクトを振るヴァイグレは、読響の濃厚で味わい深い音色を誘い出し、この波乱万丈なドラマを見事に描写してみせるでしょう。

前半では、ベルリン・フィルやボストン響などと共演を重ね世界的実力を誇るヴァイオリンの名手、ファウストが共演します。ありとあらゆる時代の演奏様式や音楽に造詣が深く、止まるところを知らない追求心を持つファウストは、訴求力の強い演奏で聴衆を魅了しています。内省的な世界が形成されるシューマンの協奏曲は、そんな彼女が得意とする作品の一つ。鮮烈なパッセージが目を引き第1楽章でシューマンの音楽の世界に引き込み、続く緩徐楽章では夢のように美しい旋律を滑らかに紡ぎ、会場に感動をもたらします。ファウストは独自の世界観でこの協奏曲を描き切り、我々をさらなる陶醉へと誘うでしょう。

1曲目は、1812年ドイツ生まれの女性作曲家エミリエ・マイヤーの「ファウスト」序曲。マイヤーは“女性版のベートーヴェン”とも呼ばれ、交響曲や室内楽曲など多くの作品を書き、近年欧州でも再評価が進んでいます。今回の「ファウスト」序曲は、中低弦とファゴットによる荘重なユニゾンから始まり、優雅な中間部を経て、金管楽器の堂々たるファンファーレが鳴るフィナーレへと向かいます。二転三転する音楽が聴衆を虜にし、ヴァイグレのバラエティに富んだ音楽づくりが一段と際立つでしょう。

©Marco Borggreve



セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)
SEBASTIAN WEIGLE, Conductor

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。バルセロナのリセウ大劇場とフランクフルト歌劇場の音楽総監督として手腕を発揮し、高い評価を得た。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、ベルリン・フィル、ウィーン響、ベルリン放送響などで活躍。雑誌「オーパングェルト」の年間最優秀指揮者などを受賞。24年10月には読響の欧州ツアーを成功に導いた。

イザベル・ファウスト (ヴァイオリン)
ISABELLE FAUST, Violin

深い洞察と豊かな知性を併せ持つ現代最高峰のヴァイオリニスト。レオポルト・モーツァルト・コンクールおよびパガニーニ国際コンクールで優勝。アバド、ラトル、ネルソンス、アントニーニ、ロト、ハーディング、ヘレヴェッヘ、カンブルラン、エラス=カサドラ名匠の指揮で、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ボストン響、ロンドン響、ルツェルン祝祭管、フライブルク・バロック・オーケストラなどと共演。室内楽でも活躍し、ザルツブルク音楽祭などに出演している。CDはハルモニア・ムンディより多数リリースし、ディアパソン・ドール賞、グラモフォン賞など多数受賞。



読売日本交響楽団 第283回 土曜マチネーシリーズ

2026年 **1月24日** (土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第283回 日曜マチネーシリーズ

2026年 **1月25日** (日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■読響チケットセンターには一時託児サービスがあります (公演1週間前までに予約)。株式会社明日香0120-165-115 (予約受付: 平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休 12/29~1/3を除く

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296